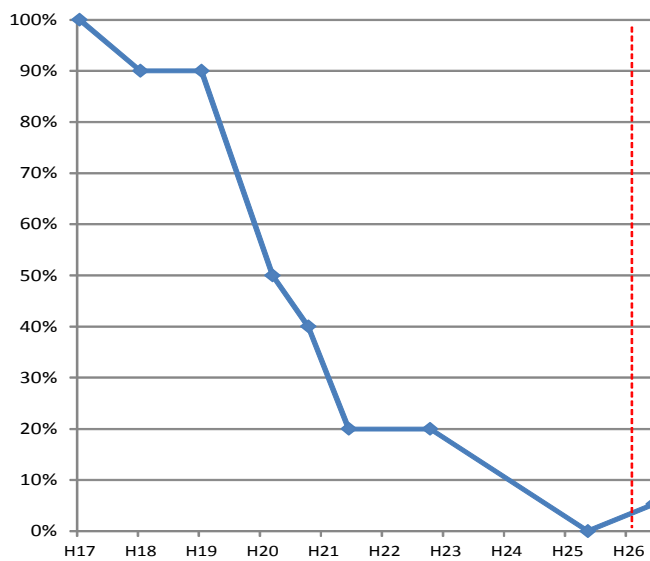


|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |          |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 樹種名            | ハンノキ（別名：ハリノキ）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |          |
| 科 目            | カバノキ科                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |          |
| 学 名            | <i>Alnus japonica</i>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |          |
| 分 布            | 日本では全国に分布し、国外では朝鮮半島、中国北部に分布する。<br>日本全国の山野の低地や湿地、沼に自生する。                                                                                                                                                                                                                                                                                     |          |
| 樹木特性           | 陽樹であり、低地から山地帯まで広く分布し水辺や湿原に見られ、湿原のような過湿地において森林を形成する数少ない樹木である。<br>生育立地環境は3タイプに分かれ、湿性地に適応、攪乱地に先駆樹種として侵入するタイプ、亜高山帯・亜寒帯・寒帯などの厳しい環境に適応するタイプがある。                                                                                                                                                                                                   |          |
| 用 途            | 公園樹、建築・家具・鉛筆・器具材として利用。樹皮からはタンニンが摂れることから、染料として利用される。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |          |
| 植栽本数<br>（植栽密度） | 19 本<br>（他樹種との混植）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |          |
| 特 徴            | <p>【樹 形】</p> <p>落葉高木で樹高は 15~20m、直径 60cm ほどになる。</p> <p>花期は冬の 12 月から 2 月頃で、葉に先だって単性花をつける。雄花穂は黒褐色の円柱形で尾状に垂れ、雌花穂は楕円形で紅紫色を帯び雄花穂の下部につける。花はあまり目立たない。果実は松かさ状で 10 月頃熟す。</p> <p>樹皮は暗灰褐色で、浅い割れ目ができて剥げ、老木では縦に割れる。</p> <p>葉は互生し、長楕円形で長さ 6~13cm、縁（へり）に浅く切れ込む鋸歯（きょし）がある。表面は無毛でやや光沢がある。葉脈は裏面に隆起し、脈上に少し毛が残る。秋に球果状の花穂を直立し、早春に開花する。堅果は小さく扁平（へんぺい）で、狭い翼がある。</p> | <br><br> |
| 試験地での様子        | ポット苗を植栽し、植栽後から枯死が徐々に多く見られるようになり、H25.6 時点で、選定した調査木は全て枯死した。<br>コウモリガやカミキリムシ類による穿孔被害が発生したことと、ハンノキは陽樹であるため林内がうっぺいしたことによる枯死が考えられた。                                                                                                                                                                                                               |          |
| 被 害            | コウモリガやカミキリムシ類による穿孔被害が発生した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |          |

## ハンノキ 現存率



## 【現存率】

植栽後から枯死が徐々に多く見られるようになり、H25.6 時点で、選定した調査木は全て枯死した。

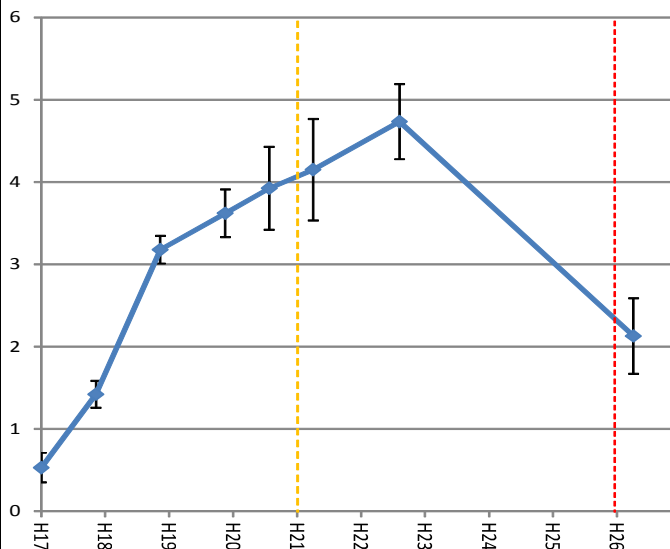
ハンノキは陽樹であるため、林内がうっぺいし被圧されたことや、コウモリガやカミキリムシ類による穿孔被害が枯死の原因と考えられる。

平成 26 年度に毎木調査を実施した結果、現存率は 5.3%(1 本)であった。

※ 赤線は、選定した調査木から毎木調査へと測定方法を変更のため、データの連続性はない。

## ハンノキ 根元・胸高直径

cm



## 【根元・胸高直径】

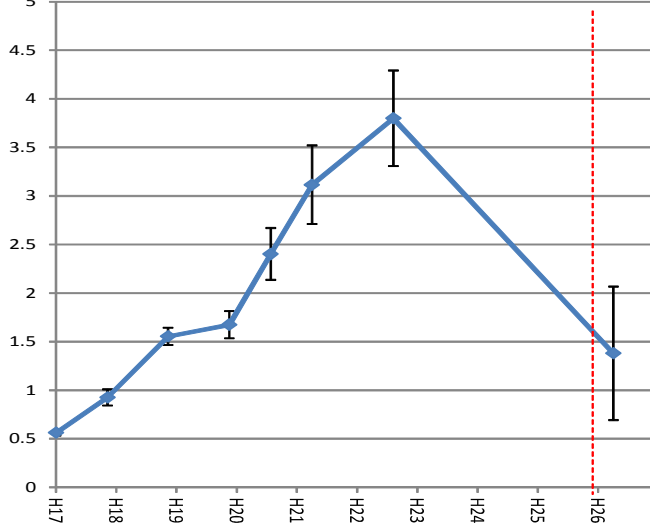
初期成長は良好であったが、植栽後 8 年で調査木は全て枯死し、平成 26 年度に毎木調査を実施した結果、胸高直径は 2.13 cm/本であった。

※ 赤線は、選定した調査木から毎木調査へと測定方法を変更したため、データの連続性はない。

※ オレンジ線は、根元から胸高へと測定箇所変更のため、データの連続性はない。

## ハンノキ 樹高

m



## 【樹 高】

初期成長は良好であったが、植栽後 8 年で調査木は全て枯死し、平成 26 年度に毎木調査を実施した結果、樹高は 1.38m/本であった。

※ 赤線は、選定した調査木から毎木調査へと測定方法を変更したため、データの連続性はない。

## 《プチ情報》

別名をハリノキ、ヤチハンノキとも呼ばれ、水田地帯で稲掛け用に列植されることがある。

良質の木炭の材料となるために、以前にはさかんに伐採された。材に油分が含まれ生木でもよく燃えるため、北陸地方では火葬の薪に使用された。近年では水田耕作放棄地に繁殖する例が多く見られる。両亜属ともに陽樹で、湿地、川原、山地の谷沿いの斜面、岩礫（がんれき）地などに生え、ときに純林をつくる。根に根粒がつき、やせた土地によく育つので、砂防用に植えられる。

ハンノキ属は北半球の温帯を中心に約 30 種分布し、日本には 11 種が知られる。雌雄同株で、雄花序は前年の秋から枝上に現れる。二つの亜属に分けられ、ハンノキ亜属にはハンノキのほかにはヤマハンノキ、カワラハンノキ、ミヤマカワラハンノキ、ヤハズハンノキなどがあり、雌花序は前年の秋に現れ、早春、葉に先だって開花する。